



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 シークス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7613 URL http://www.siix.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桔梗 芳人  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大野 精二 (TEL) 06-6266-6415  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	182,629	7.2	6,760	△2.9	6,895	△8.5	5,038	△3.9
29年12月期第3四半期	170,407	8.4	6,965	3.9	7,532	11.7	5,240	△3.0

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 4,317百万円(△14.2%) 29年12月期第3四半期 5,032百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	102.68	96.78
29年12月期第3四半期	106.39	100.30

(注) 平成30年4月1日を効力発生日として、普通株式を1:2の割合で分割いたしました。  
 これにともない、平成29年12月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	142,594	58,457	40.7
29年12月期	130,526	57,609	43.9

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 58,101百万円 29年12月期 57,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	-	26.00	-	26.00	52.00
30年12月期	-	13.50	-		
30年12月期(予想)				13.50	27.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2 平成30年12月期の配当金(第2四半期末および期末)については、平成30年4月1日付で実施した株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	243,000	4.2	8,000	△17.6	8,100	△23.0	5,700	△19.6

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有  
 2 平成30年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成30年4月1日付で実施した株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 3社(社名) SIIX HUBEI Co., Ltd.、  
SIIX Hungary Kft.、  
SIIX EMS MEXICO S de RL de C.V  
、除外 1社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更等)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年12月期3Q	50,400,000株	29年12月期	50,400,000株
30年12月期3Q	1,968,256株	29年12月期	1,143,860株
30年12月期3Q	49,066,449株	29年12月期3Q	49,254,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 平成29年12月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更等)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境を顧みますと、米国では、雇用環境の改善を背景に、景気は着実に回復が続いております。欧州では、個人消費の増加がみられ、景気は緩やかな回復が続いております。アジアにおいて、中国では景気は持ち直しの動きに足踏みがみられますが、その他アジアにおいては、タイやインドネシアを中心に景気は緩やかに回復しております。日本では、企業収益が改善しており、個人消費に持ち直しの動きがみられません。世界経済全体では緩やかな景気の回復がみられますが、先行きについては通商問題の動向および影響に留意する必要があります。

このような状況下、当社の当第3四半期連結累計期間の業績において、売上高は1,826億2千9百万円となり、前年同期に比べて122億2千2百万円の増加(7.2%増)となりました。利益面では、営業利益は67億6千万円と前年同期に比べて2億5百万円の減少(2.9%減)となり、経常利益は68億9千5百万円と前年同期に比べて6億3千6百万円の減少(8.5%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は50億3千8百万円となり、前年同期に比べて2億1百万円の減少(3.9%減)となりました。

## 報告セグメントの変更

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを事業の種類および事業活動地域をもとに区分した「電子(日本)」、「電子(アジア)」、「電子(欧州)」、「電子(米州)」から、経営上の意思決定や業績評価を行う基礎となる地域別業務執行責任体制をもとに区分した「日本」、「中華圏」、「東南アジア」、「欧州」、「米州」へ変更しております。

詳細については、「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

なお、変更後の各報告セグメントを構成する連結会社は、以下のとおりであります。

報告セグメント	連結会社
日本	当社
中華圏	SIIX (Shanghai) Co., Ltd. (中国) SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. (中国) SIIX HUBEI Co., Ltd. (中国) SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. (中国) SIIX H.K. Ltd. (香港) SIIX TWN Co., Ltd. (台湾)
東南アジア	SIIX Singapore Pte. Ltd. (シンガポール) PT SIIX Electronics Indonesia (インドネシア) PT. SIIX EMS INDONESIA (インドネシア) SIIX Bangkok Co., Ltd. (タイ) SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. (タイ) SIIX Logistics Phils, Inc. (フィリピン) SIIX Phils., Inc. (フィリピン) SIIX EMS PHILIPPINES, INC. (フィリピン) SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. (フィリピン) SIIX REALTY HOLDINGS INC. (フィリピン)
欧州	SIIX Europe GmbH (ドイツ) SIIX EMS Slovakia s.r.o. (スロバキア) SIIX Hungary Kft. (ハンガリー)
米州	SIIX U.S.A. Corp. (米国) SIIX EMS MEXICO S de RL de C.V (メキシコ)

セグメント別の業績および要因は次のとおりであります。本文中の「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益を基礎としております。

また、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較および分析は、変更後の区分にもとづいております。

① 日本

車載関連機器用部材の出荷が堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は622億9千2百万円と前年同期に比べて14億1千5百万円の増加(2.3%増)となり、セグメント利益は5億7千8百万円と前年同期に比べて1百万円の減少(0.3%減)となりました。

② 中華圏

車載関連機器用部材の出荷が増加したことにより、当セグメントの売上高は675億5千9百万円と前年同期に比べて85億9百万円の増加(14.4%増)となり、セグメント利益は27億1千7百万円と前年同期に比べて2億1千5百万円の増加(8.6%増)となりました。

③ 東南アジア

家電機器用部材や車載関連機器用部材の出荷が増加したことにより、当セグメントの売上高は780億2千2百万円と前年同期に比べて66億2千5百万円の増加(9.3%増)となり、セグメント利益は25億2千7百万円と前年同期に比べて7億3千5百万円の増加(41.0%増)となりました。

④ 欧州

車載関連機器用部材の出荷が増加したことにより、当セグメントの売上高は93億3百万円と前年同期に比べて3億8千3百万円の増加(4.3%増)となりました。利益面では、新たに連結の範囲に含めた製造子会社の初期負担もあり、2千2百万円のセグメント損失(前年同期は2億6百万円のセグメント利益)となりました。

⑤ 米州

車載関連機器用部材の出荷が堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は384億6千8百万円と前年同期に比べて4億2千5百万円の増加(1.1%増)となりました。利益面では、メキシコ工場の業容拡大にともなう設備や労働力の確保に向けた先行投資および注文の大幅な増加にともなう部材確保のための調達コストの増加等の影響により、セグメント利益は8億2千6百万円と前年同期に比べて9億7千6百万円の減少(54.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ120億6千7百万円増加し、1,425億9千4百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加によるものです。

負債につきましては、負債合計が前連結会計年度末に比べ112億1千9百万円増加し、841億3千6百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ8億4千8百万円増加し、584億5千7百万円となりました。

この結果、自己資本比率は43.9%から40.7%に減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期(平成30年1月1日～平成30年12月31日)の連結業績については、今後もグローバル規模での部材調達環境の悪化が継続する見通しであることおよび新たに連結の範囲に含めた製造子会社の進捗の遅れ等を考慮し、平成30年2月14日に公表しました連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	267,000	11,000	11,000	7,700	156.33
今回修正予想(B)	243,000	8,000	8,100	5,700	115.72
増減額(B-A)	△24,000	△3,000	△2,900	△2,000	—
増減率(%)	△9.0	△27.3	△26.4	△26.0	—
(ご参考)前期実績 (平成29年12月期)	233,153	9,705	10,513	7,093	144.01

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したSIIX HUBEI Co., Ltd.、SIIX Hungary Kft. およびSIIX EMS MEXICO S de RL de C.Vを連結の範囲に含めております。

なお、SIIX HUBEI Co., Ltd.、SIIX Hungary Kft. およびSIIX EMS MEXICO S de RL de C.Vは当社の特定子会社に該当しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,645	8,491
受取手形及び売掛金	47,131	46,887
商品及び製品	23,599	33,302
仕掛品	1,456	1,579
原材料及び貯蔵品	9,375	12,720
その他	4,311	5,453
貸倒引当金	△41	△32
流動資産合計	96,477	108,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,003	11,661
機械装置及び運搬具(純額)	7,964	9,609
土地	2,550	3,253
その他(純額)	1,317	2,000
有形固定資産合計	19,835	26,524
無形固定資産	929	1,469
投資その他の資産		
投資有価証券	2,568	2,219
出資金	7,659	912
その他	3,640	3,577
貸倒引当金	△585	△512
投資その他の資産合計	13,283	6,197
固定資産合計	34,048	34,192
資産合計	130,526	142,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	33,988	38,837
短期借入金	13,383	20,238
未払法人税等	1,438	1,315
その他	7,738	6,918
流動負債合計	56,549	67,310
固定負債		
新株予約権付社債	5,995	5,948
長期借入金	5,819	6,645
退職給付に係る負債	516	517
その他	4,036	3,714
固定負債合計	16,367	16,826
負債合計	72,916	84,136
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,625	5,629
利益剰余金	46,498	49,807
自己株式	△2,023	△3,980
株主資本合計	52,244	53,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555	302
繰延ヘッジ損益	11	△1
為替換算調整勘定	4,602	4,331
退職給付に係る調整累計額	△161	△130
その他の包括利益累計額合計	5,008	4,501
新株予約権	31	47
非支配株主持分	326	308
純資産合計	57,609	58,457
負債純資産合計	130,526	142,594



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	170,407	182,629
売上原価	153,895	166,956
売上総利益	16,511	15,672
販売費及び一般管理費	9,546	8,912
営業利益	6,965	6,760
営業外収益		
受取利息	45	55
受取配当金	73	109
持分法による投資利益	107	153
不動産賃貸料	82	80
為替差益	161	—
物品売却収入	88	68
スクラップ売却益	125	172
その他	189	321
営業外収益合計	873	962
営業外費用		
支払利息	130	206
為替差損	—	434
その他	176	185
営業外費用合計	306	826
経常利益	7,532	6,895
特別損失		
臨時損失	143	—
特別損失合計	143	—
税金等調整前四半期純利益	7,389	6,895
法人税、住民税及び事業税	2,172	2,093
法人税等調整額	50	△231
法人税等合計	2,222	1,862
四半期純利益	5,166	5,033
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△73	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,240	5,038

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	5,166	5,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	△253
繰延ヘッジ損益	△1	△13
為替換算調整勘定	△42	△396
退職給付に係る調整額	25	28
持分法適用会社に対する持分相当額	△51	△82
その他の包括利益合計	△133	△716
四半期包括利益	5,032	4,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,112	4,335
非支配株主に係る四半期包括利益	△79	△17

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

在外連結子会社

## 1 「金融商品」 (IFRS第9号)

「金融商品」 (IFRS第9号) を第1四半期連結会計期間より適用しております。

当該基準では、金融商品の分類、測定および減損、ヘッジ会計について新たな要求事項が導入されております。

なお、当該会計基準等の適用による影響は、軽微であります。

## 2 「顧客との契約から生じる収益」 (IFRS第15号)

「顧客との契約から生じる収益」 (IFRS第15号) を第1四半期連結会計期間より適用しております。

当該基準では、顧客との契約から生じる収益認識について単一の包括的なモデルが導入されております。

なお、当該会計基準等の適用による影響は、軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	37,093	37,976	61,550	7,627	26,159	170,407	—	170,407
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,784	21,073	9,846	1,291	11,883	67,879	△67,879	—
計	60,877	59,050	71,396	8,919	38,042	238,286	△67,879	170,407
セグメント利益	580	2,501	1,792	206	1,802	6,883	82	6,965

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△67,879百万円は、セグメント間取引消去等であります。

(2) セグメント利益の調整額82百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	33,712	44,951	67,541	8,175	28,248	182,629	—	182,629
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,580	22,607	10,481	1,127	10,219	73,016	△73,016	—
計	62,292	67,559	78,022	9,303	38,468	255,646	△73,016	182,629
セグメント利益 又は損失(△)	578	2,717	2,527	△22	826	6,627	133	6,760

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△73,016百万円は、セグメント間取引消去等であります。

(2) セグメント利益の調整額133百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの資産に関する情報

## (1) 連結範囲の変動によるセグメント資産の著しい増加

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したSIIX Hungary Kft. (欧州)を連結の範囲に含めたこと等により、前連結会計年度末に比べ「欧州」のセグメント資産が29億1千2百万円増加しております。

## (2) 業容拡大にともなうセグメント資産の著しい増加

業容拡大にともなう建物・生産設備投資および注文増加に備えた在庫の積み増し等により、前連結会計年度末に比べ「米州」のセグメント資産が43億5千万円増加しております。

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しております。従来、事業の種類および事業活動地域をもとに区分した「電子(日本)」、「電子(アジア)」、「電子(欧州)」、「電子(米州)」を報告セグメントとしておりましたが、経営上の意思決定や業績評価を行う基礎となる地域別業務執行責任体制をもとに区分した「日本」、「中華圏」、「東南アジア」、「欧州」、「米州」を新たな報告セグメントとしております。

この変更は、当社グループの事業が多角化し、業種・業態にとらわれないビジネスの展開が進展していることを鑑み、各地域の市場特性に応じて事業活動を展開し、業績評価を行っている地域別業務執行責任体制による区分が、経営管理区分として、より機能していると考えられることから、開示上の位置づけを見直したことによるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分にもとづいて作成しております。

(重要な後発事象)

自己株式取得に係る事項の決議

当社は、平成30年11月12日開催の取締役会におきまして、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定にもとづき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

自己株式取得に関する取締役会の決議内容

- (1) 取得の目的  
株主還元強化、資本効率の向上ならびに機動的な資本政策等を実行するため
- (2) 取得する株式の種類  
当社普通株式
- (3) 取得する株式の総数  
1,500,000株(上限)
- (4) 取得価額の総額  
2,000百万円(上限)
- (5) 取得期間  
平成30年11月15日～平成30年12月20日
- (6) 取得の方法  
東京証券取引所における市場買付